

子宮内妊娠組織遺残物(retained products of conception:RPOC)に関する検討

1. 研究の対象

1992年1月1日以降学校長承認までに当院で妊娠終了(流産、人工妊娠中絶、早産、妊娠満期での分娩)後に子宮内妊娠組織遺残物と診断された患者さん、また対照群としてRPOCを有さない当院で分娩後の患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法・期間

RPOC(retained products of conception)とは妊娠終了(流産、人工妊娠中絶、早産、妊娠満期での分娩)後に生じる子宮内妊娠組織遺残物の総称であり、病理組織診断で絨毛組織を認めることで確定診断できますが、明確な診断基準はありません。RPOCの中には大量出血の原因となるものもあり、組織診断前に超音波検査やCT検査、MRI検査、症状などから臨床的に診断して、治療方針の決定を行う必要があります。治療法も多岐にわたり待機療法、子宮内容除去術、子宮鏡下手術、子宮動脈塞栓術や子宮全摘術などがあります。治療法の選択に関しては確立した基準などが存在しておらず、無症状で自然消失する症例から大量出血を引き起こす症例までさまざまであり、治療法の選択に難渋することがしばしばあります。今回われわれは当院でRPOCと診断された症例および対照群としてRPOCを有さない当院で分娩後の患者について臨床情報を収集し、RPOCのリスク因子やその治療法、診断方法についての実態を明らかにし、出血のリスク因子、診断や治療法選択基準等について検討します。

研究期間は2028年(令和10年)12月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録(カルテ)から治療内容、病理組織学的診断、その他日常診療で得られた年齢や身長・体重などの臨床データ及び血液検査データ等を採取し解析する予定です。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

情報の利用については、研究用のID番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの(仮名加工情報)を作成します。作成時の情報については個人情報管理補助者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

個人情報管理補助者

産科婦人科学講座 准教授 笹 秀典

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問い合わせ先

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校 産婦人科学講座

対応者 岸本 直久

電話（内線）04-2995-1211（2363）

対応時間（0900-1700）

研究責任者：講師 宮本 守員